

29. ECT による ^{99m}Tc -PMT 肝摂取率の測定——基礎的検討—— ……中村 和義他…892
30. SPECT による肝有効容積の測定, その2 (臨床的検討) ……仙田 宏平他…892
31. 対向型 ECT 装置 (島津製) の使用経験
——特に診断医の立場から見た特徴と問題点について ……上野 恭一他…893
32. 膝の ECT 像の試み ……加藤 孝美他…893
33. ^{99m}Tc -スズコロイドによる肝血流の機能イメージ (Functional image) 作成の試み
(第1報) ……瀬戸 光他…893
34. 心電図同期心プールシンチによる心室性期外収縮の functional image ……近藤 武他…894
35. ^{133}Xe 動注法による脳血流連続測定に与える残存放射能の影響 ……松田 博史他…894
36. くも膜下出血後の脳血流に与えるプロスタグランジン E1 の影響 ……前田 敏夫他…894
37. 虚血性脳血管障害患者における局所脳血流量測定—— ^{133}Xe 吸入法による検討—— ……松田 博史他…895

一般講演

1. TSH RIA kit の基礎的検討 (GammaDab TSH)

柳瀬みき子 金森 勇雄 矢橋 俊丈
松尾 定雄 吉田 宏 樋口ちづ子
市川 秀男 木村 得次
(大垣市民病院・特放セ)
中野 哲 綿引 元 武田 功
(同・二内)
佐々木常雄 石口 恒男 (名大・放)

今回われわれは GammaDab TSH RIA kit の基礎的検討を行い次のごとく結論を得た。

- 1) 標準曲線: 急峻で良好なる勾配の曲線で, 再現性 (C.V.) も 1.9~20.0% の間にあり良好なる成績が得られた。
- 2) incubation 条件: 1st, incubation は 25~37°C, 2時間. 2nd incubation は 37°C, 3時間. 3rd incubation は 37°C, 30分で良好なる測定結果が得られる。
- 3) 再現性: 同時再現性の C.V. は 5.1~6.5% 日差再現性の C.V. は 10.3~16.0% の間にあり, とともに安定していた。
- 4) 回収試験: 89.0~105.1% の間にあり良好であった。
- 5) 希釈試験: ほぼ満足すべき直線性が得られた。
- 6) 本法と他の TSH RIA kit との相関: 本法と Daiichi kit との相関は, $r=0.96$ ($p<0.01$, $n=58$), shionogi kit との相関は $r=0.923$ ($p<0.01$, $n=34$) であった。
- 7) 正常域: 10 $\mu\text{U}/\text{ml}$ 以下の設定で問題ない。

8) 交叉試験: T_3 , T_4 とも交叉はなかった。

以上のごとく, 本法は1日の作業時間内に測定値が得られる簡便な方法であり, 再現性も優れていると考えられるが, 他の RIA kit での測定値と有意に齟齬する検体も認められることから, kit の性能や特徴を十分に把握し使用することが肝要であると考えます。

2. TSH RIA kit の基礎的検討 (一昼夜法)

樋口ちづ子 金森 勇雄 矢橋 俊丈
松尾 定雄 吉田 宏 柳瀬みき子
市川 秀男 木村 得次
(大垣市民病院・特放セ)
中野 哲 綿引 元 武田 功
(同・二内)
佐々木常雄 石口 恒男 (名大・放)

今回われわれは, 沈澱安定剤を使用して一昼夜にて測定が終了できる TSH kit Pairchi (二抗体法) の基礎的検討を行ったので報告した。

結 果

- 1) 標準曲線: 各測定濃度における B/Bo (%) の変動係数 (C.V.) は 1.3~10.9% の間にあり良好であった。
- 2) Incubation 条件: pre incubation; 3時間, 25°C
1st incubation; 18~24時間, 25°C
2nd incubation, 15~30分, 25°C
上記の設定条件で良好なる測定値が得られる。
- 3) 再現性: 同時再現性の C.V. は 5.3~10.5%, 日差